

語研便り

大東文化大学 語学教育研究所広報(2019/11月)

研究発表会のお知らせ

2019年度、第4回研究発表会を下記のように開催いたします。
ふるってご参加くださいますよう、ご案内申し上げます。

記

日時：2019年11月18日(月) 11時～
場所：大東文化大学板橋校舎 2号館6階 語学教育研究所

① 発表者：**野澤 督 先生 (外国語学部 英語学科)**

題目：スタール夫人が描いたイタリア
—『コリーヌ』にみるロマン主義的性格

内容：スタール夫人(1766-1817)は、『文学論』や『ドイツ論』によりフランス・ロマン主義の理論的基礎を確立する一方で、旅する人でもあった。当時のイタリア旅行者がガイドブックとしても利用した小説『コリーヌ』(Corinne、1807)は、その写実性により、イタリア文化論とも称される。テーマ設定からスタール夫人のロマン主義理論の芸術的実現の側面があると言われるこの小説に描かれたイタリア像を考察し、そのロマン主義的性格を探る。

② 発表者：**福永 美和子 先生 (外国語学部 英語学科)**

題目：統一ドイツにおける東ドイツ独裁の過去の検証

内容：1990年に再統一したドイツでは、社会主義統一党(SED)が支配した旧東ドイツの独裁の歴史を検証する取り組みが続けられてきた。本報告では、「シュタージ文書の公開とシュタージの歴史的検証」、「東ドイツの体制犯罪の司法追及」、「SED 支配の被害者の復権と補償」、「東ドイツに関する歴史研究と想起政策」という4つの観点からこの取り組みを概観し、ナチ時代の過去との取り組みと比較した特徴や問題点について論じる。その上で、世代交代や多文化化、近年の右派勢力の伸張によって転機を迎えている「過去の克服」および「想起の文化」の現状について言及したい。

以上

主催：語学教育研究所